

女性展望カフェ
「語る」シリーズ
2017年
No.6



歴史写真を読みとく、

もう一つのフォーカス



講師
岩尾光代さん
(歴史ジャーナリスト)

講師メッセージ

歴史写真の確かな定義はない。日本に写真が移入された幕末から第二次大戦の戦後にかけて撮影された写真の総称である。

映像には過去の空間に身を置くような臨場感を伴うリアリティがあつて、思いがけない出会いや発見に胸が躍ることがある。かつて写真機を構えた撮影者が意図しない、歴史の一端を伝える資料となるのだ。

しかし、5W1Hの記録がなければ、情報は間違ふことになるので、検証つまり「戸籍づくり」が「読写」の基本になる。

毎日新聞社が秘蔵していた膨大な写真群をもとに「1億人の昭和史シリーズ」を約10年間、編集した体験が私の原点にある。どんな写真と出会い、どのように読み解いてきたのか。そこには、物言わないはずの写真が語る歴史の片りんを見つけた楽しみがある。

『女性展望』新年号から始めた「市川房枝写真抄伝」は、その生涯を写真からひもといていこうとする「読写」の試みである。

プロフィール



1946年、群馬県生まれ。県立前橋女子高校を卒業、文部省入省。71年から毎日新聞社出版局勤務。「1億人の昭和史」シリーズの編集をてがげ、「毎日グラフ」「サンデー毎日」編集部勤務。この間、放送大学卒業。2011年退職し、「歴史写真の戸籍づくり」を提唱して発掘・検証をつづける。著書『新しき明日の来るを信ず』(文庫化『最初の女性代議士』)、『伊藤博文誕生!』。共著『続維新の女』、『幕末維新の美女紅涙録』、『素顔の宮家』。連載「読写!一枚の写真から」(『週刊読書人』)。

日時 **2018年3月1日(木) 13:30~15:30** 会場 **婦選会館**

- 定員 約30名(要予約・受付先着順)
- 参加費 1,620円(税込)、本誌読者及び特別維持員は1,500円(税込)
- 申込先 下記主催まで電話、FAXまたはメールにてお申し込みください。
- アクセス JR線/代々木駅北口、新宿駅南口下車徒歩約7分、小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分
地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分

お申込み、お問い合わせは下記まで

主催: (公財) 市川房枝記念会女性と政治センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館
E-mail: fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp

TEL: 03-3370-0238 FAX: 03-5388-4633
URL: <http://www.ichikawa-fusae.or.jp>